

2011年7月7日

公明党相模原市議団

団長 米山 定克

市内全域における放射線量の継続的測定に関する申し入れ

福島第一原子力発電所事故に対する政府の対応に対し、多くの国民が不安を抱えている中、相模原市内においても放射線による健康被害、とりわけ子ども達への影響について、不安の声が多く寄せられています。

市は、現在、小・中学校3校、幼稚園・保育園6園の校庭における空間放射線量の測定、小・中学校3校のプール放射能濃度の測定、27区画の各測定点の空間放射線測定、農畜産物にかかる放射能濃度検査、市営簡易水道の放射能濃度について検査、清掃工場・し尿処理施設から排出される灰や汚泥等の放射能測定を実施していますが、更なる市民の安全・安心の確保を図るため、下記の事項について申し入れるものです。

記

1. 27区画の各測定点の空間放射線測定を継続的に実施すること。
2. 全小・中学校、幼稚園、保育園の校庭における空間放射線量の測定を実施すること。
3. 全小・中学校のプール放射能濃度の測定を実施すること。
4. 全街区公園等の空間放射線量の測定を実施すること。
5. 農畜産物にかかる放射能濃度検査を継続的に実施すること。
6. 河川、池等の土壌の放射能濃度を測定すること。
7. 市民への情報発信の強化を図ること。
8. 放射線の基礎知識を学ぶ講演会を実施すること。

以上